

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止等した文化芸術・スポーツイベントの
**チケットを払い戻さず「寄附」することにより、税優遇を受けられる
制度が新設されました。**

新型コロナウイルス感染症に関する政府の自粛要請を受けて、ファンの中に感染が広がる最悪の事態を避けるため、それまで全力で進めてきた準備をすべて投げうち、苦渋の決断で開催を中止等した文化芸術・スポーツイベントが数多くあります。

中止等された文化芸術・スポーツイベントについて、チケットの払戻しを受けない(放棄する)ことを選択された方は、その金額分を「寄附」と見なし、税優遇(寄附金控除)を受けられる新たな制度を創設しました。



皆さんが応援するチーム・アスリートや今も力を与えてくれるアーティストなど、文化芸術・スポーツに関わる方々を応援したい、そんな「想い」を支える新しい税制が始まりました。

具体的な手続きは裏面をご覧ください⇒

寄附金控除までの具体的な流れ

STEP 1

主催者 ⇔ 文化庁・スポーツ庁

主催者からの申請に基づき、文化庁・スポーツ庁が対象イベントを指定

- 現に中止等(中止・延期・規模縮小)されたイベントを幅広く対象とします。
- 対象イベントは、文化庁・スポーツ庁のHPに順次アップします。

STEP 2

主催者 ⇔ 参加者 (払戻しを受けないことを選択された方)

参加者が対象イベントの主催者に払戻しを受けないことを連絡。主催者から、指定行事証明書と払戻請求権放棄証明書を手入。

STEP 3

参加者 ⇔ 税務署

確定申告の際に、上記2点の証明書と共に申告。
(e-taxでの申告も可能)
⇒寄附金として税優遇の対象となります。

(優遇内容のイメージ)

10,000円のチケット代金を払い戻さずに「寄附」

⇒好きなアーティスト等に「寄附」できた上、最大4,000円の減税!

※具体的な減税額は、寄附された方の所得額や居住されている自治体により異なります。

※税額控除の場合、(対象チケット代金合計-2,000円)×40%(+住民税分)の減税。

(注)上記「-2,000円」は、今回の特例「寄附」以外の寄附も含めた年間寄附総額に対して一回のみ適用されます。

その他の留意点

●令和2年2月1日から令和3年1月31日までに日本国内で開催予定だったものの、結果として中止等された一定の文化芸術・スポーツイベントであって、上記STEP1の手続を経て文化庁・スポーツ庁のHPに掲載されたものが対象となります(要件を満たす全てのイベントが自動的に対象となるものではありません。参加イベントが対象となっているかについては、必ず文化庁・スポーツ庁のHPあるいは主催者のオフィシャルサイトをご確認ください)。ただし、不特定多数を対象としていないイベント、そもそも払戻しが受けられないイベントは対象となりません。

●年間ごとに合計20万円までのチケット代金分が、この制度による優遇の対象となります。

●地方税の税優遇については、居住している自治体にお問合せください。

問合せ先

相談メールアドレス ticket-kifu-soudan@mext.go.jp



文化庁 本件税制担当
03-5253-4111 (内線:4764)



スポーツ庁 本件税制担当
[観戦チケットの払戻しについて] 03-5253-4111 (内線:2686)
[イベント参加料の払戻しについて] 03-5253-4111 (内線:2688)